

## 岡本 幹男 議員

### 子どもの未来を拓く 教育推進のねらいは

**問** 小中一貫教育の導入に向けた袋井市の施策の最大のねらいは。

**答** いわゆる「中一ギャップ」の緩和と、袋井市としてはこれに加え「確かな学力の定着」を主なねらいとしている。具体的には、小学校教科担任制や英語科教員の小学校への乗り入れ授業などを検討していきたい。

### 公民館の施設管理は

**問** 袋井市立公民館条例は利用者の受けた損害を賠償しない旨の規定があり、憲法や国家賠償法に違反していないか。

**答** 公民館の設置または管理に瑕疵があった場合には賠償責任を負うものであり、法律に違反するものではない。



浅羽中学校校区の5校が取り組む小中連携  
(魅力ある学校づくり調査研究事業)

### 近隣大学との交流促進は

**問** 静岡産業大学経営学部が地域マネジメントやスポーツ指導などの機能を、袋井市政に活用できないか。

**答** 磐田市の静岡産業大学経営学部にはスポーツ経営学科があり、「キッズスクール」や「健康増進教室」などの優れた取り組みを、袋井市の健康・体力づくり施策等に活用できるよう連携を図りたい。

## 伊藤 謙一 議員

### 全国メロンサミットの 内容は

**問** 本年6月27、28日にエコパアリーナで行われる本事業の目的は。

**答** 本事業は、全国のメロン産地や販売に関わる関係者を一堂に集め、その中で生産者の方々の交流や消費者の方々にメロンの価値を再認識できる機会の創出を目的とする。また、産地間の連携により新たな販売商品の開発や、メロン栽培技術の向上を目指す。

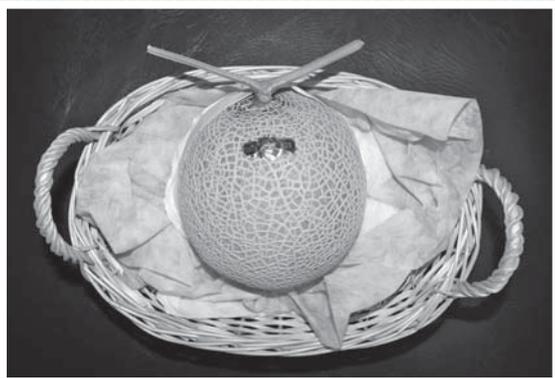
### 女性の活躍推進を

**問** 男性が家事を手伝うことも現在ではシェアという表現が適切である。働く女性の周辺環境を変えるための啓発も必要だと考えるがいかがか。

**答** 家事・育児に携わる男性は増えているが、更なる家事参加や職場においての働き方の見直し、制度の導入など経営者や同僚への意識の醸成が必要だと考える。

**問** 本事業を通じて本市のクラウンメロンの未来をどう考えるか。

**答** クラウンメロンは、市全体のシテイプロモーションやまちの勢いにも通じるものであると認識している。本事業の成功をステップに、サミットに関わった人たちが若い生産者たちが、メロン生産に一層意欲を燃やしてくれることを期待している。



販路拡大が期待されるクラウンメロン